

演 題：南海トラフ地震に関連する情報について

(第63回月例会)

■講演概要等

約100年から150年間隔で繰り返し発生してきた南海トラフにおける大地震発生の可能性が高まっている中、関連する地震情報について、「東海地震予知情報」から「南海トラフ地震に関連する情報」に移行された経緯や発表基準のほか、南海トラフ巨大地震の特徴などについて、分かり易くお話をさせていただくものです。

講師の 藤田 真樹 氏は、1978年（昭和53年）に気象庁に入庁され、鹿児島地方気象台を皮切りに、島根県の西郷測候所、大阪航空測候所、奈良・関西航空・大阪管区の各気象台にて勤務され、主に航空機の安全運航に欠かせない航空機向けの気象観測・予報業務に従事された後、2001年（平成13年）からは、大阪管区・松江・和歌山の各気象台で主に地震津波情報の発表、自治体向けの解説、地域住民への知識の普及啓発などの業務に従事し、現在は、大阪管区気象台の地震津波防災官として、地震津波の防災・減災に向けて啓発活動に尽力されています。

講 師 大阪管区気象台 気象防災部
地震火山課 地震津波防災官
藤 田 真 樹 氏

■開催日時

平成31年3月27日（水）15:00～16:30頃まで

■開催場所

起業プラザひょうご セミナールーム
神戸市中央区雲井通5丁目3-1（サンパルビル 6階）
電話 078（862）5302



■主 催 公益社団法人 神戸海難防止研究会（担当：江頭・藤原）
電話 078（332）2035

入場無料 御自由にお入りください！（定員50名）